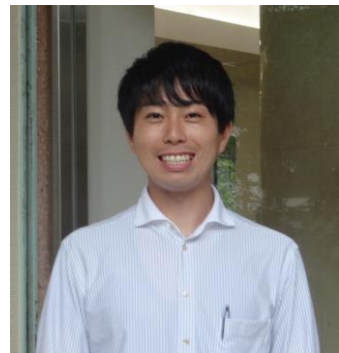





ふりがな 氏名	はらこ けいすけ	都 道 府 県	東京都	
	原子 桂輔			
所属/肩書	東京立正中学高等学校 / 教諭			
私のESD活動	生徒とともに SDGs について発展途上国の子供達との関わりを通して学び、取り組むべきことを考察する			
関心・活動の SDGs	 1 貧困をなくそう	 4 質の高い教育をみんなに	 6 安全な水とトイレを世界中に	

## 活動の概要

私は生徒とともに「持続可能な開発」の理解に努め、日本の教育に求められていることを学ぶために、学校で以下の事柄に取り組んでいます。

担任している中高一貫クラスが、課題解決型海外研修として来年度、カンボジアへ研修に行きます。その事前学習としてまずは今年の4月の開校記念日に行われた記念講演で、「SDGsを理解し、世界の課題解決に取り組もう」という持続的な開発の土台部分を学びました。ここからは2学期に入って、HRの時間等を用い、カンボジアという国を深く知るための研究活動や、実際にカンボジアの学校の生徒とSkypeを通して会話し、お互いの国の環境や課題を意識する活動を取り入れ、日本も含めた世界の現状と課題を理解する機会を設ける予定です。

このような事前学習を通して得た知識を元に、来年度カンボジアへ研修に行き、現地で実際に求められている取り組みや課題を理解し、世界の開発目標を身近に感じた上で「今、日本人にできること」を考える機会にします。

また、本校の活動としては、中大連携のESDプログラムによって、中学生のうちから人間の活動と社会の環境について学び、よりよく生きるための課題を考える機会も設けております。ユネスコスクールとして、国際理解について学ぶ機会や、クロス・カリキュラムによって、自然を相手に実習を行い、幅広い視野を身につけ、物事を考えることのできる子ども達の育成を学校全体で行っております。

・東京立正中学高等学校 国際教育「中大連携 ESD プログラム」 [http://www.tokyorissho.ed.jp/jhs2018/jhs\\_international/](http://www.tokyorissho.ed.jp/jhs2018/jhs_international/)

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

自らの活動としては、まず身近にある大きなものとして、来年度のカンボジア研修があります。今回の議論で学ぶことを研修までにクラスの生徒との事前学習で取り入れ、活かしていきたいと考えております。さらに、コンファレンスを通して教育機関の関係者からは、学校教育でのSDGsに対する意識づけの方法を議論させていただき、研修までの期間にとどまらず、それをもとに、自ら学校の中で課題の認知や課題解決学習を再検討し、よりよく実践していきたいと考えております。

また、他の職業の方々からも、世界だけでなく、日本でのよりよい未来への社会づくりの取り組みを学び、グローバルな視野を持って課題解決に向けた研究をしていく土台を築き上げたいと考えております。最終的には教育者の立場で、勤務している学校内では、生徒に幅広い視野を身につけさせ、世界の課題に触れさせることで目的意識を持った人間として成長できるようにサポートしていくことが目標になります。そのためには自らが率先してまずは持続可能な社会についてこの機会以外でも積極的に同じ志を持った方々と交流し、自己研鑽に励んでいく決意です。